

令和元年度 尾張旭市市民活動促進助成事業候補選定会議
公開プレゼンテーション会議録

1 開催日時

令和元年5月18日(土)

開会 午前10時

閉会 午後11時10分

2 開催場所

尾張旭市渋川福祉センター 研修室

3 出席者

【候補選定会議候補選定員(以下選定員という。)】

金城学院大学国際情報学部 教授 齊藤 由香

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー 西村 健

企画部企画課長 山下 昭彦

市民生活部市民活動課長 岡田 和也

【参加団体】

① 尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会

② NPO法人ピース・トレランス

③ ルカ子ども発達支援ルーム

④ 劇団びっくり箱

【事務局】

市民活動支援センター所長 西尾 頼子

市民活動支援センター副主幹 喜多野 純子

4 会議概要

開会あいさつ

選定員の紹介

申請事業プレゼンテーション・質疑応答

選定員講評・会長総評

閉会あいさつ

5 会議の要旨

事務局	定刻になりましたので、ただいまから令和元年度市民活動促進助成事業候補選定公開プレゼンテーションを開催します。はじめに、尾張旭市市民活動支援センター所長 西尾頼子から、ごあいさつを申し上げます。
市民活動支援センター所長	《あいさつ》

事務局	<p>続きまして、本日の助成事業候補選定員4名の方々をご紹介します。</p> <p>《選定員紹介》</p> <p>《進め方を説明》</p> <p>では、始めてまいります。</p>
<事業説明>	
①尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	
<質疑応答>	
齊藤選定員	<p>非常にわかりやすいプレゼンテーションでした。</p> <p>2点質問します。</p> <p>普段のお稽古場所はどちらでされていますか。</p> <p>あと、かなり団体の自己資金で負担している部分が多いと思うのですが、参加者からの参加費として、がっつりタイプの方はお一人2万円ということで、そこその額だと思いますが、予定の20名を集める目処はたっていますか。実現可能性の点からもお聞きします。</p>
尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	<p>がっつりタイプの参加者は現在10名前後となっています。前回からの参加者で10名前後集まっており、これから一般公募を開始しますが、見込みは大丈夫と思っています。</p> <p>稽古場は、東部市民センターさんか、新池交流館ふらっとさんか、渋川福祉センターさんを中心に行っています。</p>
齊藤選定員	練習場所を借りられる費用もかかってくるわけですね。
尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会	現在市民活動支援センターの利用登録団体になっているため減免で利用させていただいています。
<事業説明>	
②NPO法人ピース・トレランス	
<質疑応答>	
西村選定員	<p>すごくおもしろい、かつ必要とされている活動だと思いました。</p> <p>予算書の中にシール枚数が50枚と書かれていますが、これが今年度の協力店舗の目標数ということでよろしいですか。</p>
NPO法人ピース・トレランス	そのように考えています。
西村選定員	これから2年、3年と、長い時間かかるかもしれませんが、尾張旭市内で目標も含めてどれぐらいの店舗に協力してもらえそうですか。

NPO法人ピーストランス	<p>店舗数を増やすことももちろんなんですけれど、一つの店舗にシールを貼ったら終わりということではなくて、その後も関係性を続けていきたいので、店舗数をどんどん増やすという感じではなく、じっくり活動していきたいと考えています。</p>
西村選定員	<p>今年度はシールを増やして、というところが中心だったと思うのですが、例えば、どういったことができるのか分からないお店もあると思いますし、シールを貼られたお店同士の関係性とか、シールから先、何が起こってくるのかというところのプレゼンテーションがあるといいなと思いました。</p> <p>きっと押富さんのお考えの中にあると思うので、そういったところをまとめられて、今後新聞だったりとか、メディアで取り上げられるときなどに、将来ビジョンを改めてお聞きしたいと思いました。</p>
<事業説明>	
③ルカ子ども発達支援ルーム	
<質疑応答>	
山下選定員	<p>大変分かりやすかったです。先日、小野さんが新聞に載っていたので拝見しました。話しやすい雰囲気をつくったりだとか、困りごとに寄り添ったかたちで進めていらっしゃることがよく分かりました。</p> <p>非常に盛りだくさんのことをされていますが、「すきっぷ」と「カルディア」はそれぞれテーマをどのように選んでいらっしゃいますか。</p>
ルカ子ども発達支援ルーム	<p>「サロンカルディア」は、2017年度からスタートして2年経ちますので、参加者アンケートをとり、話し合いたいこととか、知りたことを参考にしてテーマを決めています。</p> <p>継続して来てくださる方も多いので、話し合いたいこともお子さんの成長に合わせて少しずつ変わってきて、最初は学校や園のことだったんですけど、就労について話したいなど、少しずつ変化しています。</p> <p>「すきっぷ」は未就園児のプログラムですので、小さいお子さんたちが親子で楽しめる、初めてのお子さんでも必ずいらっしゃるので、参加が難しいプログラムを選んで、初めてでも楽しめるというところを大事にして考えています。</p>
<事業説明>	
④劇団びっくり箱	
<質疑応答>	

岡田選定員	<p>楽しいプレゼンでした。</p> <p>着実に展開していらっしゃるなと感じました。</p> <p>事業の目的にも、無償で児童館をまわる、児童館も予算がないから、という話がありました。</p> <p>今後のことを考えると、皆さんにとっての必要経費に見合った収入が必要になるのかなと思います。</p> <p>昨年も収入の話は出ていたかと思いますが、今後展開するにあたり、財源について何かお考えはありますか。</p>
劇団びっくり箱	<p>尾張旭の児童館はお金がない。じゃあ、どうしようかなって思ったときに、尾張旭は児童館で上演することで知ってもらえたり、市広報にわりと載せていただけるので、そうして団体を知ってもらえます。</p> <p>市外からも、瀬戸の幼稚園とか、名東区の幼稚園に呼んでいただけることもあります。あとルカ子ども発達支援ルームさんとかも呼んでくださったりします。</p> <p>P T Aと子ども会には財源があるようなので、団体が有名になることによって、子ども会のクリスマス会など、定期的に謝礼がいただけるところに呼んでもらう、そういうところで考えています。</p>
岡田選定員	<p>非常に素晴らしい事業に取り組んでくださっていると思います。ぜひ収入をしっかり取っていただいて、事業を今後大きく展開していただきたいと思います。</p>
<p><選定員講評></p>	
西村選定員	<p>4者4様の背景も含めて伝わったプレゼンテーションでした。</p> <p>いくつか今年度の活動のお役に立てたらな、という話をさせていただきます。</p> <p>一つ目は、活動のテーマについて、対象者は誰なのか、受益者は誰なのか、誰のための活動なのか、対象を尖らせたほうが分かりやすいと思います。最終的には、選定の項目にもある「公益性」が求められますが、最初は子どもだったり障がいをお持ちの方とか、テーマがあると思うので、その方にとって生きやすい社会、過ごしやすい社会というのが、スタートだと思います。</p> <p>尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会さんは、参加者にとってこんなプラスになる、受益者にとってこんなプラスがあるというプレゼンがあったので、すごく分かりやすかったです。</p> <p>例えば、対象者の人数もあるといいです。統計的に難しいですが、例えば発達障害をお持ちのお子さんが、市内で何人ぐらいいて、今一拠点でやられていますが、どれぐらいいらっしゃるのか、車ならどこ</p>

	<p>でいけますが、徒歩や自転車となると、通う方は限定されます。そうすると市内の同じような皆さんに集まっていただくとすると、実現するには今は一拠点だけれども、1団体でやらないにしても、市内の同じような活動をしている団体さんと協力体制を結び、例えば対象の方が千人いるとしたら、千人に活動が提供できるような、大きな夢かもしれませんが、そこまで描けると、非常に応援したいなというふうに思ってもらえる人が増えてくるんじゃないかなと思います。</p> <p>それと、協力者ですよ。お手伝いシールですと、お店屋さんを増やしていくかというのもありましたけれども、やはり広く知ってもらわないと増えないという部分、丁寧に伝えていきたいという思いもあるので、数字だけではないけれども、増やすことも大事かなと思いました。</p> <p>最後の劇団びっくり箱さんの質問にもありましたが、お金をどうしていこうかなというところですね。お金だけが協力・支援ではないので、確かに世の中いろいろな助成金があります。愛知県内でも、10万円とれるところはいくつかありますが、助成金に限らず、最近クラウドファンディングや、企業協賛をとっていく話もあるかもしれません。確かにPTAや子ども会のお金を使って、市内の認知度が上がっていけば、きっと助成金以外の収入源も見えてくるのかなと思いますので、ぜひ継続して活動していただきたいと思います。</p> <p>税金が入る活動ですので、市民の皆さん厳しい目が、ある意味期待としてかかっているので、ぜひ活動を続けていっていただければなと思います。</p>
山下選定員	<p>ご多忙の中、今回の準備を進めてこられたことに敬意と感謝を申し上げます。初めて参加しましたが、非常にレベルの高い、興味深い内容ばかりでした。大変勉強になりました。</p> <p>はじめの一步部門の尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会さんは、すでに実績をお持ちですので、自信のようなものを感じました。</p> <p>申請書の中にも、「市民を中心として作ることで、幅広い世代との交流と、自分を表現する機会を提供し」とありましたが、他の活動では真似のできないすばらしい目的・理念だと思います。ぜひ今回の成功を祈念しております。</p> <p>一般部門のピース・トレランスさんは説得力のある堂に入ったプレゼンでした。</p> <p>特に、他のNPO団体と連携しながら身近なところから取り組まれているというのは、今後、市民活動に取り組みたいとお考えの皆さんのお手本になるような感じがしました。ぜひ取り組みがさらに広がっ</p>

	<p>ていくことを願っています。</p> <p>ルカ子ども発達支援ルームさんは2回目の取り組みということで、プレゼン内容を伺いましたが、地域全体で育てていくというところに、同感を覚えました。ぜひ継続していただきたいと思います。</p> <p>劇団びっくり箱さんは3回目ということで、申請内容にも全く問題ありませんし、すごく分かりやすかったです。地域愛という言葉がいくつも使われていましたが、それは行政の立場も同じです。ぜひお互い力を合わせて進めていきたいと思います。</p>
岡田選定員	<p>プレゼンの準備等、大変だったかと思いますが、いずれもすばらしかったです。</p> <p>地域の課題意識を持たれ、何が出来るかを考えておられるなど感じました。</p> <p>今回ご提案いただいた内容、この取り組みがこれからの豊かな地域社会を築くという点で、重要な役割を果たしていただけると実感いたしました。何事も継続することが大切になってきます。皆様には、今後とも継続して取り組んでいただきたいと思います。</p>
＜会長総評＞	
齊藤選定員	<p>いずれの発表も興味深く聞きました。</p> <p>今回3回目の選定委員ですが、一般部門の3団体は、これまでプレゼンを2回ないし3回見てきて、着実に継続し活動をしていらっしゃることを実感しましたし、それぞれの活動をステップアップされているのも感じて、うれしく思いました。</p> <p>市民活動はイベントやまつりではなく、一回やって終わりではありません。継続性が重要です。自分達の活動を継続していくということも重要ですが、皆様の活動を待っていらっしゃる方とか、楽しみにしていらっしゃる方もいますので、そういう方々がいるということを意識しながら、ぜひ継続をしていっていただきたいと思います。</p> <p>そういう意味で、今回初めてご参加された尾張旭でミュージカルを作ろう実行委員会さんは、来年以降もぜひよろしくお願ひします。</p> <p>あといつもこの会でお話させていただくのですが、市民活動は行政が行う活動でもなく、一方で企業が行う活動でもなく、どちらもできない活動をする、という性質をもっていますので、すごく貴重です。企業や行政だと意思決定に時間がかかります。市民活動は同じ目標を持った方が集まっていらっしゃるの、これをやろうと考えたら一致団結してすぐに意思決定して行動に移せます。フットワークの軽さがあります。どんどんアイデアを出して実行に移していくということも、できる存在だと思います。今日の発表を聞いて感じたのは、地域に寄</p>

	<p>り添った活動をされている。受益者のかたが何が必要なのか、どうい うことを待っているのか常に考えながら活動してくださっていると感 じました。そういう意味で企業でも行政でもできない活動をされてい るんだという自負と自信を持って今後も続けていただきたいと思 います。</p> <p>今回から助成申請額が5万円未満の団体は書類審査のみになりました 。土曜日のお忙しい時間に来ていただいて、プレゼンテーションを するというのは大変なことと思いますが、やはり来ていただいて良か ったなと思います。というのは皆さんすごくプレゼンテーションが上 手でいらっしやって、ご発表も分かりやすかったですけども、人前で 話すことで、自分達がどういうことをやっているのか、どういうこと を意識しているのかを自覚できる機会になると思います。</p> <p>例えばルカ子ども発達支援ルームさんと劇団びっくり箱さんのよう に、この場でお知り合いになったのか前にお知り合いになっていたの かもしれませんが、連携が出来ていて、そういうのも、実際会って顔 を合わせて話をするという場が、あるという意味でもプレゼンテーシ ョンの場は重要だと思います。あと、同じ尾張旭市民として、こんな 団体さんがこんなすばらしい活動をしているんだと、他の団体さんの 活動を知り合う場としても、やはり重要だなと思いますので、ぜひこ の会は今後もこのような形で、できればもっと多くの参加者をまきこ みながら続けていけたらいいなと思います。</p>
<p><閉会あいさつ></p>	
事務局	<p>本日の公開プレゼンテーションは以上で終了します。</p>